京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城西署西小門通（電話六六三）京城新報社

雜報

郵便爲替に就て（下）
（矢野業務課長の談）

▲通常爲替の證書送達に就て　通常爲替の差出人にして單に其爲替金の安全に調達するのみを目的とし書狀等を出する必要なき場合に於ては其の振出の際爲替證書の送達を請求せらるべし其の料金としては證書一枚に金五錢なるに付之れを書留郵便として發送するよりも低廉なるのみならず右證書送達の請求人は振出請求書の餘白に爲替金送付の目的を記載し自己の氏名宿所と共に受取人に之れが通知を請求し得べし

△旅行中所持金の盜難、紛失　又は濫費を防ぐ方法　余は新聞紙等にて旅行者が其旅行中所持金の盜難に罹り若は紛失せしが爲め往々非常の困難に遭遇せるを見又旅人が其所持金を濫費せし結果種々の災厄を蒙れる場合を聞くこと少なからずと雖も若し彼等にして必要缺く可からざる金額の外は總て郵便爲替として確實に所持するに於ては之れが盜難若は紛失等の憂少なきのみならず若し盜難又は紛失することあるも其の爲替金の詐取を防ぐこと頗る容易なるべく又爲替證書として所持するに於ては濫費する機會も少なかるべし斯ることを考ふるに於ては郵便爲替料金の如きは非常に安價なる保險料として見るを得べし以上述ぶる所は頗る平凡のことなれ共平凡は必ずしも不必要のことにあらざるにつき特に參考として陳述す猶ほ序を以て郵便爲替の取扱狀況に關し一言すべし現今日清韓の三國に於て日本政府所轄の通信官署にて郵便爲替の取扱をなす局所は其數凡七千有餘あり而して一ヶ年に於ける取扱口數の如き內國爲替のみにて振出及拂渡を合して三千万餘口に及び取扱金額は四億餘圓に達せり其取扱局所の多數なると及各地に普及せる點に於て又其口數と金額の多大なる點に於て金融機關としての郵便局所は他に比類なきものと云ふべし

徴税の不法
烏山　一日本人

京畿道烏山市場は停車場もあり四方の田舍も開きてとゝて商賈及物資の集散甚盛にて殆ど水原の市を凌く程なりしが近來の不景氣につれ集るもの〻割合に總ての方面捗々しからず隨つて從來盛なりし韓人酒店なども殆ど蔭のみなれば止むを得ず資本を食ふの憐れなる境遇に陷られり斯くて昨年酒税の初めて賦課せらるゝや全く其根本を解せざるより其不當を罵り此れも日本の爲めなぞゝ出解するものもありしが法律のことゝて拒むこともならず夫々呟きつゝ而も困難を忍びて第一期分を濟ましたり然るに第二期の今日に至り五十餘戸の酒屋に對して突然平均十一圓つゝの酒税を強制し來れり左なきだに其日暮しの酒屋は大に驚き周章狼狽或は抗議を申込み或は猶豫を請ふものありしも當事者は官威を笠に着て強制甚しきより各々東奔西走高利の金を借りて上納するあり有らゆる財產を入質して漸く滯納處分を免れたるものあり中には堪へ兼ねて何れを當てとなく逃走せるものさへありさて其後一般の酒屋は再び造るべき酒の資金なく翌日より食ふべき道なきに至り青息吐息にてなげき合ひ甚しきは縊死を企つるものあるに至れり時は陰暦節季にて最も奮發せざるべからず氣候は寒中故薪炭の用意なければ凍死に至るべし此場合納税の義務なしとするも最困難の期なり然るに何ぞや此期に當り強いて納税を迫り而も其税額の不當なるに於ては寛假すべきにあらざる事共なり此際其筋に於ても大に調査する必要あるべくまた家屋税の如きも手續を經て徴收する如きとなく全く當事者の手加減にて不當の要求を受くる家もあれば中には取り立てぬ家さへあり其罪何れに存するか玆には只事實を暴きて反省を促すのみ因みに市場税乃ち地税徴收法に關しても大に不法行爲あり追て新聞紙上に發表せん

哈爾賓の盛況

最近哈爾賓より歸來せる某客の談に曰く未だ其地を履まざる者は哈爾賓を以て荒涼たる一新開地の如く想像すべし然し事實は豫想の反對にして戶數二萬人口約七萬を容る極て賑かなる一都市なり居留人の主なるは無論露人にして其他あらゆる東西の人種を收容すれど比較的歐米一等國の住民は稀なり日本人は約七百と稱せらるゝが其中例の海外急先鋒たる賣春婦は百五十許あり是を中心として衣食する者は固より鮮かならざれども一般の多くは理髮洗濯業等眞面目なる生業に服し居れり韓人は二百五十人との事なるが何れも下層の勞働者のみ同在韓人中に政事思想抔とは意の他ならん物產の主なるは大豆及粉他家畜よりする肉毛皮等なるが就中製粉業は頗る盛にして同工場の數七あり總体の資本金三百五十萬圓の巨額に上れり氣候は一月中零下廿五度を昇降せるが住馴れたる人の談によれば本年は餘程寒き方なりと云ひ居れり先日來の京城の大寒よりは倘四五度の低溫なれども心持の勢か左程迄には感ぜざりし要するに哈爾賓は三十七八年役後著しく發展したるものにて當時の盛況は旅舍の一億にして月々客よりの心附は二三百圓を降らざりしとの事に見ても知らるべく猶今後の發達は想像に難からず云々

●一月京城氣象概況

本月に入り低氣壓の往來頻繁にして氣溫の下降を促かす三日最高八度零に達し十三日に至るまで頗る高溫を呈し十四日低氣壓西朝鮮灣より北韓を橫斷せんとし時々降雪を伴ひ通過後は滿洲の高氣壓擴張して稍氣溫下降せしも再び廿五日數個の低氣壓續出し寒氣暖和せられ廿八日夜間は濃霧に掩はれ咫尺を辨ぜず卅日大陸の氣壓著しく上昇して北西の强風吹き未明より降雪一寸餘に及び吹雪となり氣溫頓に低落し卅一日朝零下十九度九を示し創立以來第二の低極にして凍死者數名を出せり然れども全月の平均は前月より一度高く又昨年度平年よりも高度也（京城測候所報）

項目	本年	昨年	平年
平均氣溫（攝）	二、三	二、七	三、一
最高氣溫	八、〇	七、六	七、六
同日	四日	四日	四二年一月四日
最低氣溫	一九、九	一三、六	一四、三
同日	廿一日	廿二日	四一年一月三日
蒸發量（粍）	五二、九	五二、二	四四、七
降水量	二一、八	七、四	一二、八
同日數	九	四	八
快晴	四	三	五
曇天	八	七	八

日本銘刀傳
第廿八席　邑井一講演

さて虎次郎の鎚は、十五日程を經まして出來した、自ら篠原頼母方へ來て
虎「さて篠原氏、兼ての御約束通り、鎚は漸く打上げましてござるが、何卒五郎兼次の刀と、私の鎚と戰ひを願ひたう存じます、此儀を上へ願ひ下し置かれるやうに……」とありますから頼母「如何にも承知致したり」と頼母が自分で願書を認められ、大守前田中納言殿へ願ひを立てました、中納言大いに悅び給ひ、家老重役を召集めて
殿「宜しく取計へ予も見物致すであらう」と仰せがある一同「畏まり奉る」と重役相談の上、場所は加州城大廣間庭前といふことに極つて、双方へ御沙汰が下りました、文珠五郎書面を披いて見ると「明三日金澤城大廣間庭前に於て、其の方の鍛ねたる刀と長曾根沖里の鍛ねたる鎚を以つて、勝負付け候條四つ時までに相違なく出頭可致候也」とございます、文珠五郎ハタと膝を打つて
文「さては、兼て吾沖里を惡しざまに云ひ居りしが、いつしか彼の耳に入つて、我身を挫がん爲めに、斯かることと願つたりと相目ねた、ヨシ〳〵高の知れたる長曾根の鎚、其覺悟にて鍛つたる刀には、刀にあらずとも、何條何程のことやあらん、却つて我が出世なすべき時節の到來せしなり、アヽ喜ばしや」と元來高慢の男故、一も二もなく承諾をして、翌朝は出頭する心組で居りました、さて早くも其日は暮れまして、明くれば三日、虎次郎沖里は身裝ひなして、朝飯なぞを濟め、出で往かんとしたが、母がまだ起きざるに依つて、一應斷つて往かんと、母の臥床へ來つて
虎「母上、唯今私は登城を致します、今日こそは兼ての願通り、鎚と刀の試合の當日、若し私は彼に打負けますれば、手前は五郎兼次と差違へて相果てまする心得にございますれば、何分母人後々の處を願ひまする」と云ひました、臥床の內より何の回答もありませぬ、コハ不思議なりと虎次郎、襖を押明け屏風を排いて見ますれば、コハツも如何に母は、紅に染んで縮切れて居りまする、大いに驚いて孝心無二の沖里は、母の死骸に縋りつき
虎「母人よ〳〵何故あつての御自殺……」と呼べど叫べど亡魂の、今宵は何處に宿るらん、藻抜けの空やうつ蟬の、應へとてもあらざれば、沖里は茫然として腕拱ねきなさん術もなかりしが、良あつて涙を沸ひ、フト傍を打見れば、一通の遺書あり、虎次は心轟ろき「ハテ此の遺書、如何なることか認めあるやらん」と又も涙がハラ〳〵。
• • • • •
虎次郎封どく〳〵と讀下せば、
一筆書殘し參らせ候其方は父の遺業を享けて能く鎧鍛冶の本分を守り家業に精出し候義は常に感服致し居り候就ては此度其方の鍛ひ候鎚の義は妾が死を以て一心を籠め置き候間譬へ相手が今貞宗の稱ある文珠兼次にもせよ、勝負に打勝候事必條なり、去りながら鎚は陰にして刀は陽に候陰を以て陽に爭ふは臣が君に爭ふの道理なれば、此度の勝負は物の道理に逆つたる次第ゆゑに今日の勝負相濟み候上は、此國を去つて鎧師を止めよ而して能き師を撰み刀鍛冶となつて幾世に名を擧げよ、其方が鎧鍛冶の心を刀劍に移し刀鍛冶となれば日本隨一の名譽を現すべく〳〵れ〳〵も母が申殘し候事ゆゑ違ふべからず永らく孝道を竭しくれたる段冥土に至つて父に語り共に出世を祈り申さん、死出の旅路を急ぐため惜しき筆をも止め申候。から〳〵かしく。
虎次郎殿　美代

東京電報

▲伏見宮と獨皇帝　伏見若宮、同妃兩殿下には獨逸皇室御訪問、皇帝並に皇后に對顏あらせられ尙は皇帝より頸飾黑鷲大勳章を御受領あらせられたる旨電奏あり本日陛下より御答電あらせられたり(五日)

▲各聯隊長の拜謁　秋山騎兵監は目下上京中なる各騎兵聯隊長將校二十九名を同伴し來る七日午前十時三十分　天皇陛下に拜謁仰せ付られ終りて別殿に於て茶菓を賜る筈(同)

▲陸軍の將官演習　陸軍將官演習は來る三月六日より二週間京阪地方に於て擧行皇太子殿下には陸軍中將の御資格にて同演習を御見學あらせらるゝ由にて村木武官長は其の實參謀本部に通牒したり(同上)

▲內債借換と募入　內債借換は豫算の關係上急速に議會に提出し協贊を經べきが其の官報に發表せらるゝは來る七、八日頃なるが當公債を現金に換へ拂込む者は何程の公債を以てするも差支なく豫算額以上の申込みある時は

募入順序
一、國庫債券　二、海軍公債
三、整理公債　四、軍事公債
五、帝國五分利付　六、臺灣事業公債

以上の順序に依り募入するに決したり(同上)

▲減租問題の妥協　政友會は地租一分減額を主張し政府は五厘減を主張しつゝあるが貴族院にて妥協纏まるべし(同上)

▲外交問題の說明　本日豫算委員會に於て會議を秘密會とし桂首相小村外相等臨席し滿鐵中立問題日清交涉問題其他外交上に關する說明を爲したり(同上)

▲旅順開放の準備　旅順開放に關しては先般小村外相が言明したるが如く政府は着々其の趣旨の徹底に着手しつゝあり港として經營上當分出來得る限りに止め市街の設備道路の修理等に就ては可成加工する筈なるが差當り商工業に從事する者に對して本年度より土木衛生の設備に着手し下水工事は來る四月頃着手し外人の居留に便ならしむると同時に模範市街となし東洋の一大通商港となす次第なり(同上)

歐洲電報

▲日本公債の昂騰　歐米市場に於ける本邦公債は近時金融の引緩みに連れ英、獨公債と共に益昂騰を示しつゝあり二日倫敦に於て四分利九十四磅四志四分利九十三磅となり一磅四分一厘の貸なり(四日)

▲希臘形勢危機　希臘の形勢は益々險惡となり土耳古國は戰鬪準備を急ぎつゝあり(同上)

雜報

釜山漁港の設備　度支部に於ける漁港施設調査委員會審議の結果同會の一部事業たる釜山漁港設備部落成は既報の如くなるが近く同港を視察したる渡邊度支部技師の談に據れば同漁港全体の落成は今後尙ほ二箇年を要す而して既成冷藏庫及製氷設備は同竣成迄の期間假りに水產組合及水產會社等をして代營せしめん希望にて先日鐵道所坂出技師同道にて釜山に於て右希望者と會見して交涉開始未だ決着には至らざるも多分滿足の妥協を得るならん就ては年二千噸の製出設備を有せる同製氷により從來輸入の日本氷は今後全く杜絕するに至るべく水產業者は因より同一般の需要者には多大の便宜なるべし因に日本氷は釜山着百斤の價約一圓にして他途中融解等幾多の不便なりしも同庫營業の曉には諸種上敍の不便を省く他價に於ても同六十錢を出でざるべしと

地方の騷擾頻々　順川の暴動に踵ぎ龍岩浦附近の騷擾ありしことは既報したるが今又更に地方の騷擾を報じ來るものあり即ち黃海道瓮津郡に在る牧場を今回國有地に編入せられたる所土民は之れを民有地なりと主張し去る三日七十餘名の土民は康翎財務署へ押寄せたるを憲兵警察官協力して解散せしめたり土民は四日同地に滯在して近日鄉里へ歸る筈なりとの電報憲兵隊本部へ着したりと

脫稅問題の交涉　官商結託して脫稅を謀ること一度新聞紙に記載せらるゝや商業會議所に於ては之が防禦策の研究中なるが統監府に於ても調査中の由にて五日午前石塚長官は山口書記長代理を統監府へ招きて脫稅問題の善後策に關し交涉する所ありたりと因に商業會議所にては近日特に本問題に付き役員會を開き監督官憲へ請願書を提出すべしといふ

新道路の開鑿準備　現京城日本人居留地は街路狹隘にして商廛殷賑其危險名狀すべからざるより內部にては一大計畫を以て之を開鑿せんと企て本年度豫算に計上しあるが春暖の候を待つて其調査に着手すべしと而して其豫定道路は南大門外及銅峴通りより大和町に通ずる二線なるべし

●仁川の海戰紀念品　既報の如く來る九日は仁川海戰紀念日に相當するを以て信夫理事官岩崎民長奧田民會議長加來商業會議所會頭發起の下に同日午後三時三十分より仁川俱樂部に於て紀念祝賀會を開き來賓として大久保大將及び當時の急先鋒上陸軍司令官木越中將を始め明石參謀長榊原憲兵隊長其他陸海軍將校を招待する筈なるが當日同地の三銀行支店其他は業を休み國旗提灯を吊して祝意を表し民團よりは十數發の烟火を打揚ぐる筈なり尙は前日は敵前上陸を遂行したるの當夜なるを以て海岸數箇所に篝火を焚き當年の壯觀を偲ぶ由なり

●林田助役辭職理由　京城民團助役林田茂七郎氏が今回古城民長まで辭職を申出でたる理由は昨冬民團役所に公金費消事件の起るるや林田氏は部下監督不行屆の責を引きて辭職の意を漏らしたれば古城民長は事件の眞相明白とならざる前に辭職すれば却つて世間の誤解を招く虞れなしとせず寧ろ事件の落着する迄待つべしと勸告したるを以て林田氏も暫らく留職したるも今も出納簿の檢查も結了して毫も缺點なきこと明かとなりたれば此際潔く辭職することに決心したるなりと云ふ但し目下四十三年度の豫算編成中にして民長も就職日尙ほ淺ければ豫算の編成を了る迄留職すべしと云ふ

●國民演說會と政社　一進會の活動以來野次馬集團盛んに簇出し公然政治を是非し國事を議論して憚らざるが如し就中元老及び國是遊說團の一派に成れる國民演說會は其重なるものにして彼等の行動は明かに政社法を蹂躙せるものなるのみならず其顏觸を見れば孰れも樞要の官位を有し又は一流の名望を荷ひ居る輩なるより其筋にては速かに之を解散せしめんと注意し過日來閣臣をして善意的注告を會長閔泳昭等に與へつゝありと云ふ

●煙草界の亂戰止む　韓國に於ける煙草界は日本官煙及英米トラスト煙其他數種の雜煙ありて競爭激甚を極め就中日煙及外煙は互に鎬を削りつゝありしが客年末日煙方にては徒らに無益の競爭を爲さんよりは寧ろ特重態度を以て靜かに勝を制するに如かずとし茲に販賣組合を設けたり爾來外煙方にても年餘の激戰に疲れたると還般國煙の態度に過ふて暖簾に腕押しの姿となり目下の煙界はこゝ一寸休戰睨み合の姿なりといふ

●滿洲大豆の新需要　滿洲大豆は昨年歐洲向き新販路の開始されて以來頓に輸出高を激增したるが最近に至り臺灣に於て甘蔗の肥料として好適なることを認められ同地糖務局の注文により三井物產會社は既に豆粕千三萬枚を同地に輸送したり尙臺灣に於ける本年の需要總額は約一千萬枚に達する豫定なりと云へば滿洲大豆の前途は益す好望なるべし

佛人我を侮辱す
（佛國新聞エコー、ド、シー所載）

日本人は男は生れながら間諜の氣質を備へ、女は生れながら娼妓の氣質を備ふと言ふも、强ち過言にあらずと信ず、之を事實に徵するに、實際日本の今日成功しつゝある所以は此の二つの氣質に關する所多し。

但し日本人は此の氣質を『國家』と云ふ至上理想の爲に獻上するが故に、是れが直に國民の德となり、此德を以て日本の國運を隆大ならしめ、以て之を牢固拔く可からざる基礎の上に屹立せしむ。

試に之を日露戰爭に徵せよ、日本人の露國人に勝を制したる所以は、秘密政略を巧に行ひたるに由るなり。然り矮小なる日本人が露西亞と戰つて豫想外の戰捷を占め得たるは勿論其の武勇及び訓練にも因ることならんが、其の虛僞の計略と秘密の策略とに由ること寧ろ多きを占むと謂はざるべからず。

尙之を他の方面より觀察するに日本は海外に殖民を送くるに當りても先づ其の先驅として娘子軍を遣はすを常とす滿洲にても上海にても何處にても此の筆法を用ふ。

日本人は又到る處に探訪的に出掛くる者なり。見たい知りたいと云ふ飢渴に迫まれる餓鬼の如し。

是を以て眞似ると云ふことが、日本人の特長なり。元來日本人は摸倣の民なり、何處に行きても又何を見聞しても、直に之を摸倣す、然れども吾人の特に茲に注意すべきは、日本人は眞似る爲には、如何なる賤業をも厭はざることと是なり。

士族の子でも上海又は桑港に於て下男として使役せらるゝを辭せず、又士族の娘でも新嘉坡などに渡りて醜業婦となれり、而も歸來何の耻る所なく、寧ろ金を儲けたるを以て誇り顏なり。

若夫れ支那あたりに行商しつゝある日本人を見るに、孰れも間諜的氣質を有せざる者あらんや。

斯く事實を列擧し來れば、日本男子は間諜氣質と日本女子の娼妓氣質は一目瞭然たり。

●警視廳官制の改正　現行警視廳官制中改正の件本月四日付勅令第十三號を以て發布されたり其の要領は第一條中警視專任十一人を十二人とし警視の次に繙譯官二人(奏任を加へ警部の次に繙譯官補四人(判任を加へ第十四條を改正して內部大臣は必要に應じ豫算定額の範圍內にて定員に繙譯官、同補を增置し及技師、技手を置くことを得本令は發布の日より施行

●度量衡器請負入札　農商工部にては明七日午前十一時度量衡器供給請負入札を會計課に於て執行する由なるが其數量は左の如し

度器		八萬九千三百十個
量器		四萬〇五百六十個
衡	臺秤	六百七十八個
	棒秤	四千八百三十個
計		十三萬五千三百七十八個

但し落札者は三月中に之を納入し更に第二回の購入入札を執行すべしと

●來年度の監獄豫算　來年度に於ける監獄豫算は五十余万圓にて之れを法部時代の豫算に比すれば二十余万圓の增額なるが從來の監守は重もに韓國人なりしも明年度よりは日本人を多くし韓人を減ずる方針なるを以て其の俸給に著しき差異を生ずるが故なりと因みに記す監獄現在の總數は九ケ所と九分監にて囚徒は一坪に付十人乃至十二人の割合なりと云ふ

●贊成同志會幹事會　國民同志贊成會にては過日幹事會を開催したるが來會者廿七名席上同會々則を規定し金宋煥が大韓民報紙上に贊成會を目して『韓國の兇賊』と誹謗したるに對し質問委員を派して言責を詰る事統監府及び內閣に建白書を送り合邦實行を速にする事等を可決したりと

●破損度量衡と修理　農商工部にては改正度量衡の普及と共に一方破損器に對しては現に龍山出張所に於て修理の求めに應じつゝあるが之を知らざるもの多く隨て破損器を其儘使用し無意識の間に不正反則等の虞れあり故に該器を使用する者は直に同出張所に申出で修理を乞ふべしとなり

●地方主事の人選難　本年度に於て各道、各郡に配置する主事百二十餘名は目下東京に於て岡內部次官が人選中なるが行政整理官吏增俸の爲め淘汰を見越して渡韓を希望する者頗る多き由なるも適當の人物少なき爲め頗る人選に苦みつゝありと云ふ

●十三郡守の大交迭　地方行政刷新の爲め內部に於ては郡守の詮衡に力めつゝあるが二月三日付を以て祥原、中和、平壤、順安、順川、孟山、安州、永柔、江西、龍岡、成川、鍾城、鏡城の十三郡に亘り郡守の大交迭ありたり

●日韓瓦斯資產現狀　日韓瓦斯電氣株式會社は現在の拂込百五十萬圓なるが電氣買收の際即金拂を爲したる五十萬圓の社債及年々十萬圓宛仕拂を要するコールブランの未拂金四十萬圓となり右利率は年六步なりと

●船舶法と登記手續　韓國に登記法なきを以て抵當權を設定せんとする者は甚だ不便利なるが過日參與官會議を通過し來月中旬より實施さるべき船舶法には登記の條項をも規定したる由にて登記を爲すにあらざれば第三者に對し效力なからしむる筈

●暴動地へ巡查急行　四日平壤署より內部警務局へ向け暴動地なる順川へ巡查十五名應援として差遣せられたき旨急電ありたれば警務局にては更に瑞興黃州の兩署へ打電し十五名の巡查を順川へ急行せしめたりと

●韓國法令件名編纂　度支部にては日韓法令索引の便を謀り光武十一年即ち明治四十一年以降に係る日韓各法令を蒐集し印刷に附托中也

●荻田書記官の着米　日英博覽會事務及び殖民地視察の爲め渡歐の荻田統監府書記官は去る三日桑港安着の旨統監府に電報ありたりと

●平壤出張所の廢止　昨五日韓國鐵道分課規定改正の件發布され同時に平壤出張所廢止せらる

●商品陳列館の休館　農商工部商品陳列館は陳列品整理の爲め今六日より向ふ十日間休館する由

海州航路の結氷　仁川港を去る三日出帆して海州に向ひたる定期船天草丸は同航路結氷の爲め目的地に達するを得ず四日仁川に引返したるが右航路の結氷は稀有に屬すと

●東上委員の入京　外米輸入稅反對運動の爲め在韓商業會議所より東上せしむる金森鉉三氏は五日群山出發六日入京して京城商業會議所に於て運動方法に關する打合せをなすべしと云ふ

●平渡課長の東上　內部地方局府郡課長平渡信氏は來る九日地方行政履合統一に關する要務を帶び內務省其他へ打合せの爲め東上約一ケ月滯在の豫定

●巡查主事に採用　統監府間島派出所詰なりし韓人巡查中勤功あり成績佳良なる者入名は各道主事に任命さる

●警務局の茶話會　明七日午後一時より內部警務局にれいて日本人警視、警部等の茶話會を催す筈なりといふ

●綱野警部の歸京　順川郡へ出張中なりし綱野警部は國友警視の着任と共に一應狀況報告をなすべく四日歸京す

●林宇治氏の入京　陸軍步兵少佐の同氏は去る四日入京蒲尾旅館に投宿す

●朝鮮『二月號』　旭邦君の筆は情實がなくて其急所々々を衝くを以て得意とせる者の如く自分は心得て居る而して此點に於て自分は君の文章を愛讀して居る、今回發行の二月號に於ても愉快を感ずる文字が澤山にある、自分は一々之を擧げる事を憚るが多數の讀者も恐らく自分と同感であらうと思ふ本號の內容は時事評論、對韓雜感、論說、研究、名流論叢、寓源、雜纂、文藝、韓國錄、實業資料其他例に依つて風聞錄外數件に分ち何れも大文字が多數に並べられて有る、就中韓法學士の『韓國の話柴轄業に就て』の記事杯は隨分讀手が多いであらふ、又讀んだ人には相當意見があるであらふ、自分も大に讀んで大に研究しつゝある一人だ、發行所本町九丁目の同社、賣捌所は本町二丁目日韓書房代價二十五錢(△生)

龍山便り

龍山民長大久保到氏は昨紙所報の如く韓國橫貫鐵道期成同盟會の運動委員として一昨日發途東上せり氏は勢實なる事務家にして且つ世故に長け彼の巡查てふ窮窟なる箱に盛られたるが如き身分なり頴脫して兎も角も郡長迄登りたる人なれば恐らく手脫りなく遣つてのくること疑ひなし況んや東上の目的たる鐵道問題は既に成る相談ぞと與書を附せられたるに於てをや唯併しながら此緣を結び了るべき良辰吉日の選定は先續次第なる點は如何とも爲難からん而かも幵は期成同盟會が企て得る最善の手段を講じたる上の事として可なり然れども同時に茲に一問題を生ず即ち橫貫鐵道は果して幾許の貨物を龍山に齎すべき乎是れなり切言すれば民長が今時多忙なる身を以て其位置を離れ三旬に亙る長き日子を此の運動に費す程龍山に取りて必要なりや否や記者は次の理由に因て其然らざるを問はんとす

(イ)京元鐵道の敷設の急務たるや言ふ迄も無けれども其の愈々敷設成りたりとせば龍山は如何に之れを利用せんとするか京釜京仁乃至京義鐵道に鑑みよ龍山は滊車貨物の集散地に非らざるを首肯し得ん貨物集散地としての龍山は唯漢江在るが爲めのみ或は旅客の上下に益する處ありと云ふか往く者は南大門驛より來る者は龍山驛の停車をすらもどかしがること現在と何の差あらんや若或は永遠に計る處ありと云ふか記者は先づ今日を憂へ今日を計らざるべからずと云ふ(ロ)或ひ又或向と默契なからず而して龍山の事を先にせざる可どありて是非とも運動委員を上京せしめ如何に在韓邦人が橫貫鐵道の速成を熱望せるかを當路に知らしむるの要ありとすれば委員の東上は可し即ち可なれども何ぞ民長を起たしむるに及ぶべき(ハ)說を爲す者あり曰く鐵道竣成の曉と云はず先づ其起工に依りて龍山を益すること多大加之官舍の數も殖ゑん利する處尠少ならずと成程鐵道管理局所屬の各員は恰も通券をもつて劇場に入り而して座蒲團代と火鉢代を支拂ふが如き狀態に在り又工事費の幾分は自然龍山を賑はすことなれば實に結構なることに相違なし然れども這は民長が東上を否するの理由とはならず記者は願くと同盟會の事業には双手を擧げて贊成する者唯民長の東上に慊らず思ふ者也以上說く處は無論時期に隨て有理ともなり又無理とも爲る記者は今の時に於て之れを云へるのみ見よ[illegible]問題は當局に對して型までの陳情を爲し願書の出しつ放しにあらずや內地他の解決し若くは實行すべき諸種の事件は枯く措き來年度豫算編成の大事業は當へ民長に腹案既に成れるありとも尙考量に考量を重ね時々刻々に變化し行く居留地の狀態に適應せしむべく努力せざるべからず是等は橫貫鐵道以上の利害關係を龍山に及ぼすべし然も無くば一民長の旅行などに斯く長々しく管城子を累するの愚を學ばんや

▲治外法權▼

桂首相帝國議會豫算委員會に臨み言明して曰く『對韓政策は今突然之を變更せず、而かも一層嚴重の取締を爲すべく、行政組織の刷新は急を要せず漸次に行はしむる方針なり』と▲之を以て見ると桂首相の對韓政策は現狀維持だ、ハルビン兇變以來採みに採んだ揚句が斯くの如しとは實に情ない事だ、但し政府には對韓方針を變られぬ深い深い譯があると見る▲關稅免除の特典が或る一派商人の爲に濫用せらるるとば閑捨てにならぬ、關稅局や警察ではまだ御存知ないのか聞く大岡某氏の許には雪舟の掛物三十餘幅も藏するソーだ、美術を愛する心掛は結構だが該高價の掛物は何れも脫稅輸入品だとの事だ、嘘と思ふなら其筋で一ッ調べて見てばドーか▲先立て當地へやつて來て何か小法螺を吹き、其後東京に歸つて嘘八百を列べ居る五百木、大谷の輩が桂首相に向つて韓國視察の結果及將來の對韓政策に就て意見を陳述したとは失笑の至りだ、桂如何に老ひたりと雖も壯士の意見を聽いて對韓方針をきめもすまい▲在韓邦人兒童教育法の改正があるソーだ、之は至極必要だ、韓國の地理も歷史も知らさぬ在來の教育は永住殖民者には不適當だ▲京城府の役人共が京城孤兒院の整理をしたのは良い、併し其れ祝に府尹書記官等が妓を擁し酒に醉ふたとば苦々しい事だ。



趣味の京城 (五)

寫眞會—謡曲—淨瑠璃—球突—大弓—琵琶—俳句會

虫の恨みも深き夜を嵯峨野の奥の枝折戸に、仲國の迎ひを受けた小督の局といへば、誰も直様床しき爪音を連想するであらう、その琴曲が高尚なる遊藝と持囃され、特に花嫁さんの御自慢に引張り出され、婦人として「チントンシャン」の一手も心得ざるを以て恥となす如き有様なるは今更こゝに喋々するまでもない、殊に近來の流行は烈しいもので、貴賤を問はず都鄙を論せず、猫も杓子も稽古するやうである、然らば琴はそれ程容易い音樂であるかといふに中々そんなものでない、堂に入るまでには少くとも十年の日子を要する、先づ山田流なら弓八幡、生田流で黒髪といつたものからボチ〳〵始めて、表許裏許、中許、奥許を受るには一通りや二通りの苦心では出來ぬ、それであるに拘らず琴が多くの人の手にされるのは外でもない、快濶な西洋人にオルガンの音調が適するとおなじく、月に泣き花に悶ゆる多恨な大和民族には、この悲哀な音律が最も玄妙に響くからで、君し夫れ冠木門の横手には今を盛りの白梅が露につゝまれる夕暮に、千鳥の調子面白く奏づる春の曲、小柴垣を洩るゝ優しき爪音を聞いたならば、どんな人でも足を止めずに居られまいと思ふ。

山田流、生田流、八橋流の三流共多少の派は立て居て、山田は丸爪を生田は角爪を八橋は細長い爪を用ひるから、一目して其流儀は判別する事が出來る現今山田流は關東に生田流は關西に最も多く八橋は絶無に近い、此の京城は生田が大勢力を占め山田は唯獨り、本町五丁目に並木艶野といふハイカラな奥さんが居て、盤色調の調べを松の運趣い枝に通はせている許りだが、生田では旭町三丁目の村田検校を推ねばならぬ、この人流石検校だけに枯れたもので京城一との評は動かせない、南山町二丁目には清澤末之といふ人があり確に上手だが大分氣位が高いとの評判素人のお師匠さんでは旭町二丁目に奥田作子といふお婆さんの奥様が宜い梲で、令孃のゑい子さん未だ二十になるかならぬけど中々達者に彈く、夫から仁川には中管道雄といふ十五六の少年が居る、唄は若い所爲か折合がいかず可笑しいが爪音の鮮かなる手捌の奇麗なこと、恐らくは右に出るものはあるまい。

韓刺客の動靜

▲安南人の手を借んとす

過日李完用氏を暗殺せんとして果さゞりし兇漢李在明一派の者數名が我が東京に入り込み山縣公小村外相及び曾禰統監等要路の大官を暗殺せんとすると云ふ怪聞傳へらるゝや警視廳及び憲兵司令部は嚴命を下して在留韓人の警戒に怠りなく其出入に注意しつゝありとの事なるが彼等韓人等は其の警戒のあまり嚴重なる爲め早くも尋常の手段にては其希望の貫徹すべからざるを知り窃かに佛領安南に在る同志の許に飛檄し同國人の手に據りて事を擧げんとすと云へり其れかあらぬか當縣中元安南王の副官たりしカオハダ(四三)僧侶マスヲオバン(五三)の二人來朝して都下の何かに寄寓し韓國人と往來し居る形跡あるより其筋にては頻りに此兩人の動靜にも注目し居れりと聞く

斷指者の放語

▲韓人には有さうな事

既報左手第三指一節を切斷し血書と請願書とを添へて官費留學生たらん事を學部大臣に陳情したる朱奎一は昨日學部次官より其不心得を嚴訓せられ斷指請願書、血書共却下せられたるが朱奎一は學部よりの使者に對し此の國にして容れられずんば自ら頸を刎ねて死すべしと豪語したる由淺墓なる漢子と云ふべし

安重根への醵金

▲殆んど七萬圓に達す

既報安重根の辯護料支途行難とは全く同志連中の詭計にして事實は全く是に反せり某當局の偵知する處によれば排日同志の同人に傾注する同情は非常のものにして今日に至る各醵金は七萬圓の巨額に迄で達せりとの由なるが右醵出者は反りて京城に少く西北方面に多し尙ほ右基金の處分に就ては單に同人の身上にのみ支辨せず今後同志の機密費にも充當すべき内議あり云々

●途法もない魚屋

▲巡査の制服を破る

京城本町七丁目三十三番戸居住の魚商矢島常太郎(三一)と云ふは五日午前八時三十分頃本町六丁目郵便局前に於て水道會社員森川謙治の雇配水夫南大門停車場附近住の金聖敏(四〇)の挽き居たる配水車と他の荷物との間に狹まれ殊に酒氣を帶び居たる事とて甚だ危險なるより韓人金は手を以て注意したるに其れが氣に入らぬとかにて憤り其の韓人に打つて蒐りしより各韓人は其の旨附近の交番に訴へ出でしが本人を同行せよとの事に折返し前記常太郎に掛かれながら兩人共々交番に出頭なしければ當該警官は右常太郎を訊問なさんとせしに今度は巡査に食つて懸り惡罵雜言を逞ふするのみならず果ては巡査の胸倉を捉へて引破るやら同巡査の右手中指に負傷せしむるやらの散々なる亂暴したるが何分酩酊の上の事にもあり且つ覺醒後には其の暴行を非常に悔悟なし居る模樣なるより嚴敷く説諭の上放還されたりとは酒癖惡き男かな

東西湯屋廻り (五)

▲宮殿の如き土耳古の浴場

其の時其所の番頭が來て按摩をしたり洗粉を入れた袋で身体をこすつたりして呉れる、斯くして最後に石鹼でよく洗ひ、大理石の洗面器で顔を洗つて元の室へ歸つて、コーヒーや煙草をのみながら世間話をするのである。

土耳古婦人の入浴は又他の國とは異つて、悉く社交的で、此所に集ると自分の指環の價値を誇るもあれば他人の顔の品定めをするあり彼方で流行の話が盛んだと見れば此方では芝居の話に花が咲いて居る、中には四邊かまはず敵の仇敵を罵るもあり甘つたるい惚氣を吐くのもあつて實に喧々囂々眞に之が婦人の娛樂の一となつて居る。

波斯も埃及に次いで起つた古文明國で當時の浴場は多く貴族僧侶の娛樂的のものであつた、爲に其構造は極めて宏荘だつた、其上又非常に清潔で光線も一々學理より推測して取り場内に入ると先づ脱衣室は金銀を鏤め用ゐた裝飾や大理石の大天井で人の膽を奪ふ、浴室には多くの寢臺があつて浴客が其れに横はる。

●韓人の痘瘡患者

▲既に九名發生す

羅州警察署管内綾州郡内一面校村に韓人痘瘡患者發生し現に罹病者九人を數へ漸次蔓延の兆あり避病舍の設備なき爲め何れも一室内に遮斷し消潔法を施行しれれりと

●通關屋の公判

仁川塞通關屋土屋茂吉及同店員西井次郎吉に對する詐僞取財事件の第一回公判は明七日午前十時より京城地方裁判所仁川支部に開廷せらるゝ筈なるが被告の辨護人は北島靜氏なりと

●猩紅熱病者

五日本町憲兵分遣所構内宿舍に於て憲兵曹長豊田末松氏の長男國男(十一)は猩紅熱に罹りたる由なるが同日午前十時本町分遣所構内に住居する軍人軍屬及其家族に對して健康診斷を行ひたりと云ふ

●觀世流の謡曲

同會にては本日正午後六時より京城婦人會々場に於て素謡開催の由なるが其の番組左の如し▲白樂天 川上氏、佐治氏、ツレ田中氏▲兼平 三田氏、三好氏▲千手 花田氏、山口氏、ツレ片山氏▲百萬 井上氏、柴田氏、子方中谷氏▲舟辨慶 栗並氏、伊藤氏、判官陶山氏、立衆秋場氏、同坂井氏、ツキツレ大槻氏▲番外藤戸 鈴木氏、佐々木氏

●本日の教會

例の如く本日曜日の各教會は▲日本メソヂスト、朝十時聖書研究同十一時禮拜説教「クリスチャン七大變化」午後四時より傳道説教「最大幸福」にして演士は木原牧師なり▲京城基督教會、日の出町の同教會にては午前九時半日曜學校同十時半より禮拜説教午後七時半傳道説教あり其の演題は朝「婦人の上に現はれたる曲線美と直線美」川本竹樹氏、夕「求道の第一步」宗像鼎四郎君▲淨土宗開教院 同宗本日曜日の講演は水谷開教師の「奮闘的生活」最美光世君の「文明の光明」にして午後七時より開教

●韓人の出來心

仁川居住の韓人崔順萬(二〇)同林會率(十九)兩日與(二三)の三名は一昨日花町三丁目の某家引越人夫として雇はれ荷物運搬中女持絹張洋傘を竊取し窃かに之れを花町なる出口古物屋に賣却せんとする處を警官に取押へられ仁川署に引致して取調中なり

●韓人の摑み合

金明壽と云ふは渡邊警部の雇車夫なるが一昨四日午後九時頃泥醉して明治町二丁目浪花館前を通り懸りて往き遇ひたる住所氏名不詳の一韓人と口論を始め浪花館の演藝皮び通行を防害せし爲め本署へ引致されたるが懇諭後説諭放還せらる

●筑前琵琶の教授

昨冬來當地旭町四丁目に於て同好者の爲め熱心教授しつゝある斯道の名手鶴崎賢定師は其門下生も多數に上り盛況に赴きつゝあるが今回龍山本町二丁目に月友會支部を設け郷里福岡より東司照子孃を聘し同方面同好者の爲め懇切丁寧に教授せしむる由

●一昨日の新町

同遊廓一昨日の登樓客は百二十名にして其の消費金額六百四十四圓七十二錢

●一昨夜の敷島

一昨夜は節分の事とて仁川敷島遊廓に於ては日頃より亞呆島の舞ひ込む數も多く其數七十名此消費高二百七十四圓三十八錢なりしと

▲編輯日誌▼ 一向平々凡たる者であつた、桃睦が頻りと原稿の督促を受けて居つた位、四時が過ぎると柳江散髮にと出掛ける日曜前の散髮なんかは危ない者だ。

▲京城座 同座第十四回目本晩の出し物は「一念力」の通し物にして其の役割は左の如し

苦學生阪田三郎(泉)信夫有爲、井上署長(松村)書生山本(錦)た玉妹れ道(本田)吉田れ玉(堀江)信夫菊枝(金澤)母れ倉、仙吉(桂木)車夫西浦勝三(吉井)一八(吉村)澤木半五郎(高島)高利貸山田(高山)巡査野元(兒島)山口定高(美輪)看護婦時子(三好)仲居れいち(三浦)遊人銀次(白石)信夫敏夫(田宮)

▲浪花館 同館本晩の出し物は左の如くにして例に依て大切總掛合は「脚取千兩幟」稲川宅の由

御祝儀賓の入船(越吉)た駒才三鈴ケ森(今子)太功記十(此菊)御所三(此清)四谷怪談伊左衛門(春吉)三勝半七酒屋(小妻)先代萩御殿(園菊)日吉丸三(越之助)

▲平民文庫▼

▲皆樣私は無學不筆の者ですが今少し勉强致したいと思ひますが何分年老ひて酒學も致し兼ねますから皆樣の内に女教師の方は又は他の御方が讀書を御教へ被下る御方は有りますまいかありますれば何卒住所を御知らせ願ひます(無學女)▲兎に角一應本社に御來しなすつてと覽なさい出來る限りに御盡力致しませう(文庫子)▲京城に於ける筑前琵琶教授者の住所氏名を紙上にて御教示願度候(テ生)▲過般來豪雨に次ぐに暴風雪ありセータ河一時に増水して爲に巴里全市は今や水中にありて殆んど全滅の狀態にありと併も是れ三百年來の大洪水なりとは慘又慘(世界の人)▲本町七丁目の琴子さんに問ふ貴孃は一人ならず二人迄の好きせんを持ちながら尙他に男を探して居らるゝさうだが好い加減にして置かんと腹の違り場に困るやうな事が出來ますよ(心配生)▲僕は渡韓以來既に八年になるが多少成功した者の一人と思うが未だに配偶者がない世話をして呉れる人はおるまいか(獨身郎)▲今日は大韓主催の浪人會がある相な短銃短刀の携帶を禁ずと云ふ廣告だが間違がなければよいと心配して居る(浪人)▲平壤に於ける一奇聞を投書爲樣と思ふが登載して呉れますか(歸京人)▲投書して見給へ何れ物見した上の事にしませう(小僧)▲浪花館の義太夫は些度開かれるのが二三枚居る此菊に節廻しを遣つて園菊に喉を入るれば云ひ分はない(好義太生)▲貴紙三面三一館の吉凶鏡は大に趣味あるもの樣に思はれ候へ共素人には其の一白二黒三碧等の別の了解に苦む讀者の爲め時に御説明わらん事を乞ふ(屋、ナ生)▲お望みに依つては説明もしませうが是で編輯室は中々急がしいですからな(小僧)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

二月六日日曜十二の廿六九紫先勝壬寅建△一白 障礙失錯の日なり愼重事を蔵すべし兒女家畜の上に留意すべし△二黒 恩を施し仇に報せらるゝ事あり其他大抵良好△三碧 端事の日なり大概吉訴訟織料は忌む△四緑 平穏の日なるも家庭内に紛擾者くは煩累あらん△五黄 自負失錯を招き時機不利を蔵すの恐れあり△六白 陰鬱なり新事變更凶但し建築勤士には用ひて吉△七赤 物事紛料を釀し易き日なり街盗難防ぐべし△八白 快欣の日なり大抵吉交際上禮を素す勿れ△九紫 赤運の日なり謹愼を要す礦山冶金には吉旅行出帆大に忌むべし

二月七日月曜十二の廿七一白友引癸卯除△一白 中宮日にして厄運たり新事の手控の事盗難防ぐべし△二黒 不如意の日なり新事見合すべし殊に相談婚姻養子の事皆凶△三碧 洞達の日なり旅行事業始め婚約尤も妙△四緑 願進の日なり結婚入門訴料相談契約等妙△五黄 不振の日なり新事言合せの事紛爭盗害防くべし△六白 不意の收益又は好報を耳にする事あり其他平凡△七赤 家族又は從者より損害失厄を蒙るあらを其他盗運△八白 顔誌渋滞多し用意すべし盗難遺失避くべし△九紫 新事見合の事續行に類する事は宜し色情の破れを愼しむべし

●天氣豫報(自五日午後六時至六日午後六時)

北東風晴後曇

四日(華氏) 最高温度 二五、九 最低温度 八、四

株式會社第一銀行第廿七期營業報告

貸借對照表

負債に屬する分

資本金	一〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
積立金	五、一〇〇、〇〇〇、〇〇
諸預金	四九、八[illegible]四、六四一、二三
內譯	
定期預金	一九、〇六一、一〇六、九七
當座預金	二八、三三六、八五九、四四
其他預金	二、四二六、六七四、八一
仕拂送金手形	三一七、三一六、五八
銀行券	七、八八八、七五一、八〇
消却資金	
他店より借	五、五四三、〇八六、一八
未拂配當金	七、七四二、四〇
前半期繰越金	五五六、六八〇、八一
當半期純益金	八四九、三九九、二七
合計	八〇、〇八七、六一八、二六

資產に屬する分

諸貸出金	五二、四四六、二二五、一六
內譯	
定期貸	七、二二四、七六二、三五
當座貸越	四、五六三、五〇六、三六
割引手形	三七、六五七、九四六、四五
韓國政府貸上金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
國債及地方債證券	一四、五二五、七三二、九五
株券及社債券	七一七、〇三三、五〇
他店へ貸	一、四九〇、七一一、六五
地所建物	一、〇五二、八七〇、五一
什器	
新築費	二二三、八二三、〇一
預ケ金	二、七〇〇、七七六、八二
金銀有高	七、一三一、四五四、六六
合計	八〇、〇八七、六一八、二六

利益金勘定

當半期純益金	八四九、三九九、二七
前半期繰越金	五五六、六八〇、八一
合計	一、四〇六、〇八〇、〇八
內	
役員賞與金	四二、四七〇、〇〇
積立金	三〇〇、〇〇〇、〇〇
配當金(年一割)	五〇〇、〇〇〇、〇〇
後半期繰越金	五六三、六一〇、〇八

明治四十三年二月

東京市日本橋區兜町一番地

株式會社第一銀行

頭取男爵 澁澤榮一
取締役 三井八郎次郎
取締役 佐々木勇之助
取締役 熊谷辰太郎
取締役 日下義雄

前記各項調査を遂げ其正確なるを保證す

監査役 土岐僙
監査役 尾高次郎

第六期營業報告

貸借對照表

負債之部

政府貸下金	三四九、二〇〇、〇〇〇
貸幣整理貸下金	三三、〇〇〇、〇〇〇
農工債券發行高	二五〇、〇〇〇、〇〇〇
支拂未濟農工債券利息	三、二七〇、二九〇
資本金	四〇〇、〇〇〇、〇〇〇
積立金	二〇、一〇〇、〇〇〇
配當積立金	一五、一〇〇、〇〇〇
支拂未濟配當金	一六〇、〇〇〇
賞與金	
定期預金	一五七、九五六、八四〇
當座預金	二六四、九一四、七〇五
小額預金	一八四、七〇二、一〇五
別收預金	三二、六八〇、一三〇
預金手形	一五、七四六、〇〇〇
公金預金	八七、九八二、三五〇
支拂送金爲替手形	一〇、二三二、四〇〇
借入金	六〇〇、〇〇〇、〇〇〇
再割引手形	二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
他店ヨリ借	八七、七八〇、五〇〇
中央金庫	七七、〇四〇、一五九
三年度地方費	一三、八八〇、五五〇
當期利益金	一八、六四六、八九一
合計	一、九九八、九三五、四一五

資產之部

未拂込資本金	二三五、六五〇、〇〇〇
年賦償還貸付金	二三八、一九一、三〇〇
定期償還貸付金	三三五、〇二六、〇四五
貸付金	三五二、三〇一、七〇〇
當座貸越	
割引手形	五九〇、〇六〇、二四〇
荷付爲替手形	七、九二八、五〇〇
供託金	二〇、〇〇〇、〇〇〇
當座預金	一四四、六八七、九六〇
假出金	七、五五五、七九五
公債	五五、〇二〇、〇〇〇
株券	三〇、四二五、〇〇〇
他店へ貸	二〇、六二一、五四〇
地所	二二、三一九、五三五
建物	四五、九四五、九七〇
什器	一〇、三九九、六三〇
抵當物流込物件(地所建物)	三九、四七九、〇〇〇
金銀有高	一六二、八八九、六二〇
合計	一、九九八、九三五、四一五

損益

一 金九萬七千五十四圓三十七錢五厘　當期總益金
一 金二千八百五十一圓七十二錢六厘　前期繰越金
合計 金九万九千九百六圓十錢一厘
內
一 金八萬一千二百十四圓四十一錢　當期總損金
差引
金一万八千六百九十五圓六十九錢一厘　當期純益金
此配當計算左ノ如シ
一 金二千八百圓　積立金
金九百五十圓　配當積立金
四千七百十三圓(年一割二分)　配當金
金一千七十圓　賞與金
金九千一百六十二圓六十九錢一厘　後期繰越金

右ノ如シ

隆熙三年十二月三十一日

株式會社漢湖農工銀行

理事銀行長 白完爀
理事 李鴻揆
同 孫健鵬
同 陰海權
同 李在周
同 徐顯文
同 朴基煥
同 尹東重
支配人 久能省三

前記ノ各項調査ヲ了シ其正確ナルヲ保證ス

監事 金用集
同 金然鎬
同 金時鉉

美術半襟帯締其他紐類各種

京城明治町一丁目
電話二千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物産京城支店
●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻屋本店
●望上女中 十五六歳の女子高等官舍上女中見習たし俸給望ます 氏名在社（八
●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ日の出町下山商行（電一〇〇七）

物件部

●貸家 西大門内統監府醫事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 開所清水方へ
●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 贊化堂藥店
●老舗讓渡 本町一丁目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居抜の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村
●貸家 南大門外吉野町一戸建間數三間家賃十七圓外に長屋建もあり滿車館に近く出入便利 希望の方は電話七四番
●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む 身一人温突ならは最佳 氏名在社

廣告

焦心單志多年爲斯道於酒微蘊奧旨恍然似有得者矣 堅推薦斷陳腐茫洋辭愈匪 勝素面輕邊也
易斷觀 相教授 館主
京城本町五丁目
土御門派 入陰陽師
三一館 宮

●●●滋養と牛乳●●●
純良 牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
馬車配達
●●●衛生と消毒●●●

社告
配達夫一昨日負傷仕候爲め
茲三四日間は側刻の通り配達仕り難きやも慮られず候間右御諒承被下度此段龍山讀者諸彦に謹告仕候也
二月一日
龍山支局

入院隨意
内科 小兒科 眼科
龍山新市街山下町
原醫院

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇〇番

純良牛乳 … 牧場 …

醫學士北村一等軍醫正（呼吸器病及消化病擔任）を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す
但し名譽院長出診は毎偶數日（丁日）午後とす
病室落成 入院隨意 貧民施療
贊化病院
本町四丁目
電話二一四番

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
ハリモト
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

生殖器 多年福岡醫科大學皮膚科教室（皮膚病黴毒泌尿生殖器）科教室に奉職し今般辭職左の處に開業專ら
皮膚病黴毒淋病膀胱病 生殖器障碍の 診療に從事
診療（午前八時より午後二時迄 夜間自五時九時迄）
入院隨意
電話一一七三番
南大門通三丁目
支那領事館前通 京城郵便局後
院主 佐藤伊一郎
佐藤皮膚病院

石川高等法院判事閣下校閲 今村内部警務局警視閣下校閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利
統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要
●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢
右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層普及致し大目を協約宮制、官規、官等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規にして些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、像白を存して御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用命仰せ付られ度候願上候敬具
明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

美術書畫 襖、壁、天井張
京城壽町一丁目
桂萬吉
（電話六二七番）

營業擴張廣告
土地家屋並に商品擔保
右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記便利の箇所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速罷出可申候
質企業
京城竹園町二丁目 樋下田本店（電話九三二番）
京城相生町（南大門外魚市場裏） 樋下田支店（電話一四三九番）
龍山漢水町六十三番戸 樋下田支店（電話四〇四番）

京城明治町一丁目
電話二千四百〇九

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
電話六十五番

大阪 荒物世帶道具一切
合製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替發付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
荒物世帶道具 各國諸油米穀 銘酒澤龜アサヒサッポロ麥酒 並に買次業
合西
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇 電略（ニカ又はニ）
振替貯金口座東京（九四一七番）

綿わたワタ
たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ツ角
御問屋
唐川商店
電話二六一番

●唐津石炭直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目九五
南大門高等女學校裏通り
近藤商店
電話八百三十五番

韓國銀行
電話（長）三三〇一 本店用
電話 二六一二 當直用
（長）一三〇一 用度保用
二三六一 來客用
一三二〇一 臨時建築部用
一三二一 …

支店出張所
仁川、平壤、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、開城、元山、大邱、安東縣、
爲替取引先
東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、（以上日本）釜山、公州、光州、晋州、海州、沙利院、博川、寧邊、（以上韓國）大連、（淸國）
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

外科 内科
黴毒淋病專門
●京城御成町南大門外一丁目
●入院隨意 ●電話番號九三八番
戸田病院

辯護士 特許辯理士
京城明治町二丁目（佛國敎會前）
岩田仙宗
電話三五四番

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
洋酒、罐詰、酢、穀物、麵類、銘茶、鑵詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽、各種特約販賣御望に依り商品切手調進仕候
（電話一二五一番）

資本金一千萬圓
積立金五百十萬圓
株式會社第一銀行京城支店
電話一一番 六二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

神戸資生分院
京城相生町（南門湯横）
京城梅毒病院
◎花柳病專門並痔（注射療法）
●入院隨意●
院長 醫學得業士 盧田新平
（電話一二九四）

●開業●御披露●
大阪流會席御料理
大阪流れ手輕會席御料理、大藝妓、仲居、料理人、大阪生粹の料理及び鄭重なる御取扱
右は本月四日より左記屋號の新築家屋に於て開業仕候藝妓、仲居、料理人等何れも大阪より御目新らしく雇入れ大に相成候ども即時御間に合せ可申候猶御會席は數十人樣何時御起しに依り何程にても御便利なる御取扱ひ致し可申候間何卒續々御來遊御高評の程願上候
明治四十三年二月三日
京城南山町四丁目
大阪流會席料理
山海樓
（電話一五四番）

滋養 京城大和町一丁目
牛乳 平山牧場
消毒 電話一三二

京城南大門通三丁目光宣門側
御待合 紅葉
電話一三八二番
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候

株式會社 第十八銀行京城支店
（電話四二〇）
資本金參百萬圓
積立及繰越金九拾五萬圓
京城南大門通
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、鎭南浦、群山、元山、釜山
韓國 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金（一口壹錢以上何程にても御預り申候 利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

★株式會社百三十銀行韓國支店
京城本町二丁目十五番戶
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 名古屋、半田、熱田、四日市、津、靜岡、山田、桑名、松阪、東京、横濱、大磯、甲府
東山道 岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、高崎、足利、桐生、大垣、長濱、八幡、大津
北陸道 松、青森、秋田、能代、土崎、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、高岡、富山、伏木、新湊
山陰道 大聖寺、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、吉野、寺島、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、大分、行橋、後藤寺、佐伯、別府、熊本、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社出帆廣告
仁川 電話十番
郡回漕店
仁川海岸通 電話三九番
貨物及船客取扱店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 二月十一日後三時出
●大連行 相模丸 二月十五日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出
●大連行 酒田丸 二月三日正午時出
●釜山出帆 元山、淸津、城津行 立神丸 一月廿六日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送迎リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ稅關ノ本…